

平成29年6月23日

関 係 各 位

山梨大学教育学部附属特別支援学校
校 長 鳥 海 順 子

ポスター発表のご協力について(お願い)

向暑の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は本校の研究にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本校で開催する第32回公開研究会において、ポスター発表を行います。つきましては、次の通り、発表へのご協力をお願い申し上げる次第です。学校研究や分掌での取り組み、個人での研究などについて意見交換を行い、特別支援教育の発展のためにご理解とご協力をお願い申し上げます。

- 発表日時** 平成30年1月27日(土) 13:10～13:50(予定)
(準備 前日16:00～ 当日8:40～9:00) (予定)
- 発表場所** 本校体育館
- 発表者** 特別支援教育に携わっている方 または 関心のある方
- ポスターサイズ** 縦置きのパッケージボード横120×縦180
(上部30cmにはタイトル・氏名を記入 模造紙2枚程度)
- 申し込み方法** 発表いただける方は **所属 職名 氏名 連絡先 E-mail** を
ファックスまたはメールにてご連絡ください。
- 申し込み締め切り** 第一次締め切り:平成29年11月24日(金) その後も申し込みを受け付けます。
第二次締め切り:平成29年12月25日(月)
- 申し込み先** TEL 055-220-8282 FAX 055-220-8322
E-mail hmidori@yamanashi.ac.jp 研究主任 原 満登里

その他 お申し込みされる方へ

- ◇発表テーマ及び発表内容(100字程度)を当日配付の実施要項に掲載させていただきたいと考えます。平成29年12月25日(月)までにお知らせください。
- ◇公開研究会当日は、ポスター発表の内容を要約したA4用紙1枚程度の資料を100部ご用意下さい。

山梨大学教育学部附属特別支援学校
研究主任:原 満登里

ポスター発表の募集

日常の実践について発表して語り合いませんか

日時 平成30年 1月27日（土）
13:10～13:50

場所 山梨大学教育学部
附属特別支援学校 体育館

内容 特別支援教育に関するもの



昨年度(H28)の様子

【申し込み・お問い合わせ】

山梨大学教育学部附属特別支援学校

研究主任 原 満登里

TEL : 055(220)8282 FAX : 055(220)8322

E-mail : hmidori@yamanashi.ac.jp

URL <http://www.futoku.yamanashi.ac.jp>

ポスター発表実践例

「わかってできる」個別学習の取り組み

タイトルを明確に記載してください
(テーマは自由です)

山梨大学教育学部附属特別支援学校
△学部 ○○ ○○

学習目標

○具体物の操作を通して、色、形、位置、方向、大きさ

課題の

所属と氏名を
必ず記載してください

○児童が数物と元々の形と色を正確に認識し、色や形を

サイズは、模造紙2枚程度です。

縦置きのパターションボード(横120cm×縦180cm)に、
公開研究会前日16:00、もしくは当日に貼ります。

ビーズ分け



○内容
・部屋が小分けになっているケースに、色別にビーズを入れていくもの
○興味・関心
・色数を数える
・本人が好きな色を選ぶ
○学習のねらい
・あらかじめ決めたルールを
・始めは簡単なルールから
・順番にルールを追加していく

「内容について」

- ・学校で行っている日々の実践事例や研究
- ・教材の紹介(説明)
- ・授業の報告
- ・分掌での取り組み
- ・個人や団体での研究等

が例年出されています。

箸つかみ



○内容
・ピンセットや箸を使っていくもの
○興味・関心
・明るい色と暗い色
○学習のねらい
・ケースのルールを
・移動して
・次第に色数を
・ボールが入っているケースも、机に置いたままから、利き手ではない方の手で持って取り組む様子も見られるようになった。

「レイアウトについて」

- ・写真や絵・図等の使用の有無は、自由です。
- * 個人情報の取り扱いの配慮をお願いします

洗濯ばさみとし

○内容
・色の異なる洗濯ばさみと、円状の色画用紙のふちに線を引いた台紙を用いて

第32回公開研究会で「ポスター発表」を行うことで、発表者と参加者が直に意見や情報を交わし、日々の悩みの解決や新たな支援方法の模索など、特別支援教育の発展に繋がりたいと考えます。是非、日頃の実践や研究の成果について発表していただき、参会者の皆様と共に充実した時間を過ごせればと考えています。

ご協力いただける方は、1次案内に記載されているFAXまたは研究主任宛のメールアドレスに、お申し込みください。

詳細につきましては、お申し込みの受付後、順次お知らせさせていただきます。

山梨大学教育学部附属特別支援学校 研究主任 原 満登里

成果と課題

○今回の実践では「集中が持続できるように見通しが持ちやすい」「手指の巧緻性を高めることにつながる」「児童の興味・関心が持ちやすい」ことなどに配慮して課題を設定した結果、児童は集中して取り組むことができた。引き続き、実態把握を行い、適切な目標や課題を設定していくことで、児童の力を伸ばしていきたい。